

湖を望んでたつ近代的な高層建築の研究所の設計図が揚げられていた(図右参照)。

第6組の藻類分類学研究組は中国藻類誌のうち、淡水藻を担当する中心グループで、饒欽止教授(C.-C. Jao)をリーダーとする10名が藻類のそれぞれの分類群を分担して研究を進めている。私が滞在中に話をかわした研究者と担当の分類群の名を記すと次のようである。李堯英(Y.-Y. Li), 藍藻 輪藻; 施之新, ミドリムシ(裸藻); 魏印心(Y.-S. Wei), 緑藻・渦鞭毛藻(甲藻); 朱蕙忠(H.-Z. Zhu), 硅藻・サヤミドロ(鞘藻); 陳嘉祐(J.-Y. Chen) 硅藻(採集が主); 鄔氏(画家)。中国鞘藻目(サヤミドロ目)(1979)をはじめとして多数の研究業績で知られる饒欽止教授は永く病床にあり、残念乍らお会いできない旨のメッセー

ジが別刷とともに届けられた。このことは実に残念であった。一日も早いご恢癒をお祈りしたい。

武漢には1月24日から29日まで滞在した。到着の日降り出した雪は粉雪となって毎日舞った。研究所の方達は「先生歓迎の雪です」と言って下さったが、ホテル以外は暖房がなく、遂に足の指先が霜焼けとなった。「こんどは夏に来たいですね」といったら、「夏は湿度が高く蒸し暑いです。春か秋がよいです」とのことであった。武漢では、湖北省植物研究所や武漢大学等も訪れたが藻類と直接の関係が少いので割愛する。

終りに武漢滞在中にお世話をして下さいました黎尚豪副所長と俞敏媚研究員にお礼を申し上げる。

#### 日本人研究者を記念した藻類の属名

最近発行された Index Nominum Genericorum (本号, p. 67参照)を通覧して、植物の属名に人名に由来するものが相当にある事を感じた。そこで多少注意して、藻類に関するものを抜き出してみた。これに、Indexに収録されていない最近発表されたものも加えると下記のようなになる。

#### Genus names of algae dedicated to Japanese scientists

<i>Akiyamae</i> SKVORTZOV et NODA	Chlamydomonadaceae	}	秋山 優
<i>Akiyamamonas</i> SKVORTZOV et NODA	Bodonaceae		
<i>Chiharaea</i> JOHANSEN	Corallinaceae		千原 光雄
<i>Hideophyllum</i> ZINOVA	Delesseriaceae		三上 日出夫
<i>Hiroseia</i> SKVORTZOV	Chlamydomonadaceae		広瀬 弘幸
<i>Kurogia</i> YOSHIDA	Delesseriaceae		黒木 宗尚
<i>Makinoella</i> OKADA	Oocystaceae		牧野 富太郎
<i>Mikamiella</i> WYNNE	Delesseriaceae		三上 日出夫
<i>Nodamastix</i> SKVORTZOV et NODA	Rhizomastigaceae	}	野田 光蔵
<i>Nodeana</i> SKVORTZOV	Hemiselmidiaceae		
<i>Okamuraia</i> ZINOVA	Delesseriaceae		岡村 金太郎
<i>Tanakaella</i> ITONO	Ceramiaceae		田中 剛
<i>Tokidaea</i> YOSHIDA	Ceramiaceae	}	時田 郁
<i>Tokidadendron</i> WYNNE	Delesseriaceae		
<i>Tsumuraia</i> SKVORTZOV et NODA	Chlamydomonadaceae		津村 孝平
<i>Yamadaia</i> SEGAWA	Corallinaceae	}	山田 幸男
<i>Yamadaella</i> ABBOTT	Helminthocladaceae		
<i>Yamadaphycus</i> MIKAMI	Delesseriaceae		
<i>Yatabella</i> OKAMURA	Gelidiaceae		矢田部 良吉
<i>Yendonia</i> KYLIN	Delesseriaceae		遠藤 吉三郎

(北大理植 吉田忠生)